

せいよ地域おこし協力隊員募集要項

西予市は約515平方キロメートルの広大な面積を有し、西は宇和海に面し、東は四国カルスト台地に連なる山々が広がります。海拔0メートルの臨海部から内陸部の平野、そして標高1,400メートルの山間部まで、変化に富んだ地形から、美しく豊かな自然環境や景観、多様な産業や人々の営みがあり、その多様性が最大の魅力の1つです。また、海、山、里、それぞれの地域に特色のある祭りや行事残り、多くの歴史や文化に触れ合えるまちです。

市内には、「自分たちの地域は、自分たちの手で」を基本理念として、地域が主体性を持って地域づくりに取り組んでいる27地域づくり組織（団体）があります。広域な当市において、地域が抱える課題は様々であり、特色ある取り組みを行っているところです。

今回、そうした市内の地域づくり組織からの求めとして、地域の一員として地域で自立・定住し、地域の将来を担う人材を“せいよ地域おこし協力隊員”として募集します。

1 活動地域

三瓶町周木地区

2 支援団体

周木ビリ島むらおこし会

3 募集人数

1名

4 業務・活動概要、応募条件

西予市職員、市民、関係団体等と連携しながら、別添の受入・活動計画書に基づく業務を遂行する。

【応募条件】

(1) 次に該当する人が応募できます。

①生活の拠点を3大都市圏（注1）と政令指定都市又は地方都市（過疎、山村、離島、半島等の地域に該当しない市町村）としており、せいよ地域おこし協力隊員として採用後、西予市に住民票を異動し、地域が指定する住宅に居住することができる方。

（注1）3大都市圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県及び奈良県

②普通自動車運転免許証を取得している方、若しくは着任日までに取得を予定している方。

③住民と協力しながら、積極的に地域づくり活動のできる方

④コミュニティビジネス・ソーシャルビジネスに興味のある方

⑤任期終了後、活動地域において起業・定住に意欲がある方

(2) 次に掲げる条件の何らかに該当する人は応募することができません。

①成年被後見人又は被保佐人。

②禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人。

5 委嘱及び期間

(1) 西予市から委嘱を受けます（市との雇用関係なし）。

(2) 令和6年4月1日以降の採用の日から採用年度の年度末までを一区切りとし、年度更新により最長3年まで。

（活動実績などにより更新をします。）

6 報償費

月額233,000円

給与ではなく業務への報酬となります

社会保険ではありませんので、国民健康保険等は自己負担となります

7 待遇及び福利厚生

(1)雇用の形態ではなく、業務の委嘱となります。

(2)西予市と受入地域づくり組織又は中間支援組織が地域おこし協力隊の活動に要する支援業務について委託契約を締結します。隊員の活動に対する支援、生活上の相談、定住に向けた支援など、直接的な支援については、受入地域づくり組織又は中間支援組織が行います。

(3)住宅は、受入地域づくり組織又は中間支援組織が準備した物件を無償貸与又は個人が借りた家賃を補助（上限5万円）します。光熱水費等は、自己負担となります。

(4)活動に使用する車両については、必要に応じ、受入地域づくり組織又は中間支援組織が貸与します。

(5)活動に関連する活動費は受入地域づくり組織又は中間支援組織から支給します。

8 サポート体制

(1)地域おこし協力隊事業統括担当課（まちづくり推進課）に、個人事業主型の地域おこし協力隊相談担当者を配置します。

(2)配属される地域づくり組織においても、地域担当職員等を配置し、隊員への支援や地域とのパイプ役を担います。

(3)受入する支援団体（地域づくり組織等）において、スムーズに地域や業務に溶け込めるよう、地域での暮らしや業務・定住をサポートするための体制を整えています。

9 応募手続

(1) 応募期間

令和6年1月15日から随時受付

※予算の範囲内で募集を中止します

(2) 提出書類

・せいよ地域おこし協力隊応募用紙

・履歴書

・レポート

※複数のミッションを併願する場合、それぞれにレポートが必要です

【記入上の注意事項】

・履歴書には顔写真を貼付してください

・職務経歴書は必要に応じて添付してください。

・レポート（1,600字程度。書式は自由）

・レポートテーマ

地域おこし協力隊（個人事業主型）に応募した動機や地域を選定した理由、そのミッションに対して自分にできること・やりたいこと・役割、任期後の定住に向けた計画や考えなど、今までの経験を全て含めて書いてください。

※提出された個人情報については本公募のみに使用し、その他の目的には使用しません。

(3) 応募先

〒797-8501

愛媛県西予市宇和町卯之町三丁目434番地1

西予市役所政策企画部まちづくり推進課地域おこし協力隊担当 行

(4) 問い合わせ先

西予市政策企画部まちづくり推進課 地域振興係（地域おこし協力隊担当）

電話番号：0894-62-6403 ファックス番号：0894-62-6501

メールアドレス：machidukuri@city.seiyo.ehime.jp

10 選考方法

(1) 【一次選考】

受付期間終了後、書類審査及びWEB面接の上、合否の結果を応募者全員に文書等で通知します。

(2) 【二次選考】

一次選考合格者を対象に、地域の方及び市役所職員との面談等を実施します。

日時、場所等については、一次選考結果通知でお知らせします。

※二次選考会場までの旅費は旅費規程に準じて計算し、3万円を上限に支給します。

11 最終選考結果の通知

二次選考終了後、速やかに二次選考受験者に文書等で通知します。

※選考の経過及び結果についての問い合わせには応じられませんのでご了承ください。

せいよ地域おこし協力隊受入・活動計画書

1. 団体名
周木ビリ島むらおこし会
2. 隊員希望人数
1名
3. 隊員の活動地域
西予市三瓶町周木地区内
4. 隊員の活動期間（予定）
委嘱の日から3年間
5. 居住地
（住所）西予市三瓶町周木地区内 （家賃）約30,000円程度
6. 活動車両の有無・借上料
有・30,000円程度
7. 隊員の活動概要
 - ・空き家を活用した宿泊、移住、交流場所づくり
 - ・農業、漁業など周木を活かした体験パックの企画
 - ・地域の情報発信、各種交流イベント企画
 - ・住民などから郷土料理の習得
 - ・周木ビリ島むらおこし会に参画し、地域活動への参加、地域住民との交流を通じた新たな地域づくり事業の実施
8. 隊員の定住に向けての支援概要
 - ・住居の提供(地区内空き家などの斡旋)
 - ・スキルアップへ向けた各種研修、免許取得の費用補助
 - ・研修先農家、漁業者の斡旋(農家、漁業者からの指導)
 - ・田舎暮らしに対する困りごと相談
9. 連携する団体・事業所等
周木ビリ島むらおこし会

10. 活動内容

<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の確認、交渉、リノベーション、活用(宿泊) ・週末を楽しむ体験パックの企画、実施 ・農業、漁業の基礎技術の習得 ・週末の特産物を活用した料理や郷土料理の習得、PR ・研修会への参加、各種免許の取得 ・地域の情報発信、地域活動への参加

11. 活動計画スケジュール (1年目)

年 月	活動時間	内 容
4 月	約 160 時間	活動拠点の整備、準備 週末地区探索 週末住民との交流 地区内農家挨拶 空き家調査(空き家状況、管理者)
5 月	約 160 時間	農業体験 (剪定) 漁業体験 空き家調査(空き家状況、管理者)
6 月	約 160 時間	農業体験 (摘果) 空き家調査(空き家状況、管理者)
7 月	約 160 時間	農業体験 (摘果) 漁業体験 空き家調査(空き家状況、管理者) イベント準備(いかだ集会)
8 月	約 160 時間	農業体験 (摘果) 空き家調査(空き家状況、管理者) 地域子供たちと交流
9 月	約 160 時間	農業体験 (摘果) 漁業体験 空き家調査(空き家状況、管理者)
10 月	約 160 時間	農業体験 (袋掛け) 空き家調査(空き家状況、管理者)
11 月	約 160 時間	農業体験 (袋掛け、収穫) 漁業体験 空き家調査(空き家状況、管理者) イベント準備(竹あかり)
12 月	約 160 時間	農業体験 (収穫) 空き家調査(空き家状況、管理者)
1 月	約 160 時間	農業体験 (収穫) 漁業体験

		空き家調査(空き家状況、管理者)
2月	約 160 時間	農業体験 (収穫) 空き家調査(空き家状況、管理者)
3月	約 160 時間	農業体験 (収穫、剪定、伐採、苗木付け) 漁業体験 空き家調べ(空き家状況、管理者)
活動時間計	約 1920 時間	地域づくり組織の活動、SNS などを使用した情報発信などは通年 住民からの料理の指導(不定期) 周木体験パック作成のため、隊員が農業、漁業の体験し流れを理解する 取得希望免許、資格(船舶免許、食品衛生管理者、民泊適正管理主任者)

(2年目)

年 月	活動時間	内 容
4月	約 160 時間	農業体験 (剪定) 空き家調査(管理者へ交渉)
5月	約 160 時間	農業体験 (摘果) 漁業体験 空き家調査(管理者へ交渉)
6月	約 160 時間	農業体験 (摘果) 空き家調査(管理者へ交渉)
7月	約 160 時間	農業体験 (摘果) 漁業体験 空き家調査(管理者へ交渉) イベント準備(いかだ集会)
8月	約 160 時間	農業体験 (摘果) 空き家調査(管理者へ交渉) 地域子供たちと交流
9月	約 160 時間	農業体験 (摘果) 漁業体験 空き家調査(管理者へ交渉)
10月	約 160 時間	農業体験 (袋掛け) 空き家調査(リノベーション)
11月	約 160 時間	農業体験 (収穫) 漁業体験 空き家調査(リノベーション)

		イベント準備(竹あかり)
12月	約160時間	農業体験(収穫) 空き家調査(リノベーション)
1月	約160時間	農業体験(収穫) 漁業体験 空き家調査(リノベーション)
2月	約160時間	農業体験(収穫) 空き家調査(リノベーション)
3月	約160時間	農業体験(収穫) 漁業体験 空き家調査(リノベーション)
活動時間計	約1920時間	地域づくり組織の活動、SNSなどを使用した情報発信などは通年 住民からの料理の指導(不定期) 周木体験パック作成のため、隊員が農業、漁業の体験し流れを理解する 免許、資格の取得

(3年目)

年月	活動時間	内容
4月	約160時間	農業体験(剪定) 空き家活用(試運転)
5月	約160時間	農業体験(摘果) 漁業体験 空き家活用(試運転)
6月	約160時間	農業体験(摘果) 空き家活用(試運転)
7月	約160時間	農業体験(摘果) 漁業体験 空き家活用(試運転) イベント準備(いかだ集会)
8月	約160時間	農業体験(摘果) 空き家活用(試運転) 地域子供たちと交流
9月	約160時間	農業体験(摘果) 漁業体験 空き家活用(試運転)
10月	約160時間	農業体験(袋掛け)

		空き家活用(試運転)
11月	約160時間	農業体験(収穫) 漁業体験 空き家活用(試運転) イベント準備(竹あかり)
12月	約160時間	農業体験(収穫) 空き家活用(試運転)
1月	約160時間	農業体験(収穫) 漁業体験 空き家活用(試運転)
2月	約160時間	農業体験(収穫) 空き家活用(試運転)
3月	約160時間	農業体験(収穫) 漁業体験 空き家活用(試運転)
活動時間計	約1920時間	地域づくり組織の活動、SNSなどを使用した情報発信などは通年 住民からの料理の指導(不定期) 周木体験パック作成のため、隊員が農業、漁業の体験し流れを理解する 隊員が体験したことを活かし、翌年を見据え体験パックの企画、実施を行う

※活動計画スケジュールは、採用や着任の時期、また活動の進捗や受入地域の状況等によって変更が生じる場合があります。

※上記はあくまでも計画です。協力隊の方が自ら考え、実践したいと思われる取り組みを地域一丸となって、協働の基、支援します。